



『熱中症対策』

校長 木村明彦

7月を迎え、羊蹄山の残雪も残り少なくなり、ようやく暑い夏がやってきそうです。今年は、肌寒い日が多かったり、急に夏日になったりと、どこかおかしな気象状況に、不安を覚えてしまいます。これからの季節、「暑すぎる」日もあるかと思えます。北海道とはいえ、これからの季節、油断はできませんので、こまめな水分補給など、暑さ対策を欠かさずに、地域・保護者の皆様には、体調に留意され、お過ごしいただきたいと思えます。

さて、既に全国各地では、気温が上昇し危険なほどの暑さに見舞われ、多くの方が熱中症で病院に運ばれたり、とてつもない大雨による洪水や土砂崩れが発生したりと、自然災害がおきています。年々異常気象の頻度やその規模が大きくなってきており、各自治体や関係機関においては、その対策が迫られているところです。

学校でも、近年の状況を鑑み、特にこれからの時期の暑さ対策の取組を進めています。先日、各学年全教室に、町教育委員会の迅速な対応により、スポットクーラーが一台ずつ設置されました。気温が上昇した日には、既に稼働を開始しています。今後は、校内の電気工事が完了次第、さらにもう一台を設置し、学習活動に支障のないよう教室の環境整備を図っていきます。また、水筒や塩分タブレットの持参による水分・塩分補給なども「可」とし、こまめに児童の体調管理を行っていくことと、職員間で確認をし、保護者の皆様にも、ご理解とご協力をお願いしたところです。そして、最近報道等で、注目されている「暑さ指数」による対策ですが、「暑さ指数計」を3台用意し、都度、下記表に示した暑さ指数を基準に、運動や課外活動の可否を確認し、子どもたちの健康を守っていく体制をとりました。ただ、北海道では今までになかった、学校での『暑さ対策』となります。現時点で、可能な限りの対策を講じてはいるものの、新たな課題が生じてくることも十分に考えられます。その際は、保護者の皆様や関係機関と連携を図り、最善策を講じていこうと考えておりますので、ご協力をお願い致します。

『暑さ指数(WBGT)』 → 人体と外気との熱のやりとりに着目し、①温度②湿度③日射・輻射など周辺の熱環境④風の4つの効果を取り入れた指標(単位℃)です。

21-25	注意	強い生活活動で起こる危険性有→(積極的に水分補給)
25-28	警戒	中度以上の生活活動で起こる危険性有→(積極的に休憩)
28-31	嚴重警戒	全ての生活活動で起こる可能性有→(激しい運動は中止)
31以上	嚴重警戒	全ての生活活動で起こる可能性有 →(外出を避ける・運動禁止)
33以上	熱中症警戒アラート	危険性が極めて高い

本年度の重点目標 主体的・対話的に学ぶ力の育成～意欲溢れる優しい子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう!

天気に恵まれた運動会

快晴の中の開催は数年ぶりとなり、夏のような日差しのもと、子ども達は暑さに負けることなく練習してきた成果を発揮する姿を見せてくれました。各ブロックや、低学年・高学年に分かれて競技を行うため、上の学年となった子ども達は作戦を立てたり、お手本となって行動をしたりするなど、リーダーとしての役割も果たそうと頑張っていました。

競技は勝敗を伴いますが、運動会テーマである「ベストをつくして」を達成すべく、最後まであきらめずに応援したり競技したりする姿が見られました。それも、たくさんの方々にお集まりいただき、温かい声援や拍手をいただいたおかげです。

今年度、新たに行った競技の運営アンケートでも、協力を申し出てくださった方がたくさんいらっしゃいました。最後のテントや用具の片付けにも、多くの方々にご協力いただき感謝しております。本当にありがとうございました。



修学旅行

6月13日から6年生は1泊2日の日程で修学旅行に出発しました。函館駅からグループに分かれ、自主研修が始まりました。スタートした途端に反対方向に進んでいく班もあり、心配される場面もあったようですが、天候にも

恵まれ、全員が湯の川のホテルに到着。夕食はボリューム満点の豪華なお膳が出て、食べきれないほどの量だったようです。また、その夕食の様子を6年生の保護者に Zoom で配信しました。少し恥ずかしそうにしながらも家族の声を聞くことができ、笑顔も見られました。空が暗くなるとともに、函館の町が明るく見えてくる函館山からの夜景に歓声が上がっていたようです。人との関わりについて改めて気づき、学んだ貴重な時間となりました。



ホーネッツ・レディースの皆さんと

子ども達の体力の状況を把握・分析することで、体力向上を目指す「体力測定」を毎年全学年で実施しています。体の柔軟性や素早さ、運動を持続する能力、力強さ、タイミングの良さなどの項目を測定するため8種目が行われ、その実技の1つに、「ソフトボール投げ」があります。今年度は本町を拠点として練習を行っている女子野球チーム「ホーネッツ・レディース」から4名の方を講師に迎え、全学年の児童を対象に教えていただきました。グループに分かれ、ステップの仕方や腕の振り方、ボールの持ち方などを丁寧に教えていただきました。短時間で子ども達がぐんぐん上達する様子が見られ、指導前と指導後では、ボールの飛距離が7mも伸びた子どももいました。記録が伸びた子も、測定時は思うように投げられなかった子も、選手の皆さんから優しく声をかけていただき、笑顔がはじけていました。

